未達成　達成率95%　　Ⅰ期:4,5月　2期:6,7月

令和8年度　Ⅰ学期(第Ⅰ,2期)　学校自己評価

重点目標	達成指標	学校の重点的取組(太字)		教職員	AB(A)	児童		A	B	C	D	保護者	A	B	C	D	評価・改善
進んで学び確かな学力を身につけた子どもの育成	①国語、算数、理科の単元末評価テスト平均80%以上を80%以上、50点未満を5%以下 結果は下に 達成率88% ②教職員アンケートで、重点的取組を行っているとのA評価を60%以上 達成率79% 【児童】 児童アンケートで、「授業がわかる」との肯定的回答85%以上 達成率111% 【家庭】 保護者アンケートで、「毎朝のあいさつ活動を推進する」との肯定的回答80%以上 達成率114%	Ⅰ期	**学習用具を整えて休み時間を過ごす。 【低】チャイムが鳴るまでに、着席させる。 【中】チャイムが鳴るまでに黙って着席させる。 【高】Ⅰ分前までに着席させる。**	左記の指導を行っている。	100(56)	チャイムがなるまでに、席についている。※学年ごとに詳細設定、左記参照		43	46	9	2	**子どもと十分に会話ができている。**	37	56	7	0	【成果】 ○児童の肯定的評価はどの項目も高い。 ○時間を意識した行動をする児童が増えた。 ○言語活動を取り入れた学習と見方・考え方を明確にした「書く」活動に加え、書いたものを説明する力の育成に取り組んできた。他の児童のもつ多様な考えとの出会い、思考力の向上につながった。 【課題】 ○昨年度から始めたチャレンジ学習による主体的な学びが見られる一方、ドリル使用回数の減少や家庭学習の未定着児童の増加に伴い、学力差が生じた。 ○やり直しに対する丁寧な取組は、学年が上がるに連れて差が顕著である。今後も丁寧で、粘り強い支援をする必要がある。
		2期						37	52	9	2	子どもと週Ⅰ回以上、「横瀬小あいうえお」を声かけし、会話することができている。	27	48	24	1	
		Ⅰ期	**話す人を見て聞く。 【低中】最後までしっかり、話す人を見て聞く態度を育てる。 【高】自分の考えと比べながら、話す人を見て聞く態度を育てる。**	左記の指導を行っている。	94(39)	人の話を聞くときは、相手の目を見て聞いている。※学年ごとに詳細設定、左記参照		46	47	7	0	子どもは、家庭で話す人を見て聞くことができている。	23	60	16	1	
		2期						44	46	9	1						
規範に基づいて判断し行動する子どもの育成	①児童アンケートで、「きまりを守っている」との肯定的回答85%以上 達成率116% ②教職員アンケートで、重点的取組を行っているとのA評価を60%以上 達成率88% 【教職員】 生徒指導上の事案や支援を要する児童に対して、誠実かつ真摯に対応したとのA評価60%以上 達成率67% 【家庭】 保護者アンケートで、重点的取組「毎日、保護者から先に子どもにあいさつし、+Ⅰ(一言)声をかける」を行っているとの肯定的回答80%以上 達成率114%	Ⅰ期	**クラスの友だちに進んであいさつをする習慣を定着させる。**	左記の指導を行っている。	94(53)	友だち、先生、地域の方に、自分から進んであいさつをしている。		58	36	5	1	毎日、保護者から先に子どもにあいさつをし、+Ⅰの声かけができている。	36	55	9	0	【成果】 ○児童の実態に応じて生活目標を設定し重点的に取り組んでいる。挨拶習慣の定着について、一定の成果が見られた。 ○廊下の歩き方については、年度初めに比べ落ち着いて歩く児童が増えた。 【課題】 ○挨拶の項目では、児童・教職員・家庭ともに多くの部分で90%を超えているが、実態との差が感じられる。今後も継続した指導が必要である。 ○廊下の歩き方の項目は、他と比べ指導・児童の自己評価ともに低い。今後も委員会活動の活用や丁寧な指導を行っていく必要がある。
		2期						51	42	6	1	子どもは、家庭で進んであいさつができている。	26	10	14	0	
		2期	廊下の右側を静かに歩く習慣を定着させる。	左記の指導を行っている。	79(31)	廊下の右側をいつも静かに歩くことができる。		33	55	10	2	子どもは、家庭できまりを守ることができている。	9	63	26	2	
つながりを大切にして、自他の良さを認め合う子どもの育成	①児童アンケートで、「相手を大切にした言葉を使っている」との肯定的回答85%以上 達成率113% ②教職員アンケートで、重点的取組を行っているとのA評価を60%以上 達成率92% 【教職員】 教職員アンケートで、行事・学習活動においてめあて・活動・ふり返りを効果的に循環させることにより目標に向かって挑戦する態度を育てたとのA評価60%以上 達成率63% 【家庭】 保護者アンケートで、重点的取組「週にⅠ回以上、『横瀬小あいうえお』を声かけし、会話する」を行っているとの肯定的回答80%以上 達成率94%	Ⅰ期	**ぽかぽか言葉を進んで使う習慣を定着させる。**	左記の指導を行っている。	100(55)	友だちにぽかぽか言葉を使っている。		58	37	5	0	子どもは、家庭で相手を大切にした言葉を使うことができている。	11	62	26	1	【成果】 ○「ぽかぽか言葉」「スマイルカード」の年間を通した取り組みが蓄積されており、アンケートでの肯定的数値は高い水準で維持されている。 ○帰りの会での「いいところ見つけ」では、どのクラスも意欲的に発言できている。 【課題】 ○どの取組においても、成果の個人差は大きい。 ○「自分のいいところ」の項目は、全ての中で一番低い。 ○子ども同士の会話では、いいところを伝え合うことが少なく、どのような会話がいいのか指導する必要がある。
		2期						51	45	3	1						
		2期	進んでよいところみつけをする習慣を定着させる。	左記の指導を行っている。	100(50)	自分のいいところを見つけることができる。		42	36	17	5	子どもは、家庭で自分のいいところを見つけることができている。	14	70	15	1	
						友だちのいいところを見つけることができる。		62	33	4	1						
学校全体で目指す資質・能力	児童アンケートで、右記3項目平均の肯定的回答90%以上 これまでの平均90.8% 達成率101% 保護者アンケートで、「子どもは目標に向かって挑戦している」との肯定的回答85%以上 これまでの平均73% 達成率86%		目標に向かって挑戦する力	右記3項目を意識して、目標に向かって挑戦する力の育成に取り組んでいる。	100(38)	「将来の夢」や「やりたいこと」がある。	Ⅰ期	68	21	6	5	子どもは、家庭で目標に向かって挑戦することができている。	14	59	26	1	児童の肯定的評価、達成率は高い水準だった。一方、保護者の肯定的評価は、目標に届かなかった。 「めあて−課題−まとめ−ふりかえり」を意識した取組を徹底し、努力が次の取り組みの意欲につながるよう指導を図る。
							2期	70	18	7	5						
						授業のめあてを意識して課題に取り組んでいる。	Ⅰ期	50	42	7	1						
							2期	49	44	6	1						
						新しいことに挑戦している。	Ⅰ期	51	40	8	1						
							2期	52	40	7	1						
大分市重点施策 Ⅰ学期の結果 国語80点以上75% **達成率94%** 50点未満1% 達成率100% 算数80点以上67% **達成率83%** 50点未満1.6% 達成率100% 理科80点以上71% **達成率88%** 50点未満1% 達成率100%			学力向上	学習に必要なものを持ってくるように指導している。	100(30)	学校が楽しい。	Ⅰ期	60	34	5	1	子どもは、学習に必要なものを持っていくことができている。	32	61	6	1	多くの児童が「学校が楽しい」「授業がわかる」と回答している。他の項目と比較しても高い傾向にあり、年間を通じて維持、向上できるよう教職員間で研修を積み重ね、指導の充実に充てたい。 否定的評価を記入した児童に対しては、日頃の様子から注意深く見守り、必要に応じて面談を交えるなど、状況の改善に今後も努める。
							2期	64	28	6	2						
				授業が分かるよう、指導している。	100(44)	授業がわかる。	Ⅰ期	59	36	4	1						
							2期	54	39	7	0						
			生徒指導、いじめ・不登校対応	生徒指導上の事案や支援を要する児童に対して、誠実かつ真摯に対応している。	100(40)												教職員の肯定的評価はともに100%。児童や保護者からの相談やいじめアンケートなどで広くアンテナをもつことを共有している。定期的にいじめ不登校対策委員会を開催し、個別の対応や児童理解の共有、関係機関との連携などを行い、教職員全体で対応している。
				SSW、SC、関係機関と連携し、支援会議での共通理解をもとに事案に応じた対応を図ることができている。	84(42)												
			小中一貫教育(3校共通テーマ:表現力向上)	小中一貫教育のテーマをもとに、表現力の向上に努めている。	94(18)	授業で学んだことをもとに、自分の思いや考えを相手に伝えることができる。	Ⅰ期	42	49	8	1	子どもは、家庭で自分の思いや考えを伝えることができている。	26	65	9	0	感染症流行以降、3校合同授業研を中心に、年間計画をもとに取組を進めてきた。今後もより一層充実するよう、共通理解を深める。
							2期	38	51	9	2						
			働き方改革	自己の超過勤務時間の実態を把握し、業務改善を意識した時間管理を行っている。	90(23)												昨年度時間外勤務が減少した。今後もICT機器の活用や行事の精選、校時表の見直しを検討していく。
			体力向上	天気がいいときは、外で遊ぶように指導している。	94(63)	音体カードの体力づくり5つをしている。	Ⅰ期	73	20	6	1	子どもは、家庭で天気がいいときは、外で遊ぶことができている。	26	49	23	2	音体カードの体力づくり5つの取り組みが高い水準のままである一方、外遊びの項目で否定的評価が多くみられる。委員会活動などを中心に今後も声掛け、指導を続けていく。
							2期	67	26	6	1						
				音体カードの体力づくり5つをする指導をしている。	88(44)	天気がいいときは、外で遊んでいる。	Ⅰ期	63	19	13	5	子どもは、家庭で音体カードの体力づくり5つをすることができている。	32	52	14	2	
							2期	58	17	16	9						